

東北電力の取組紹介

■ 東北電力株式会社

- ・ 設 立:1951年(昭和26年)5月1日
- ・ 資 本 金:2,514億円
- ・ 供 給 区 域:東北6県および新潟県 他
- ・ 販売電力量:60,874百万kWh(電灯・電力の合計)
- ・ 従 業 員 数:4,661名

■ 設備概要

発電設備		
種別	箇所	出力
水力	202	244万 kW
火力	8	1,057万 kW
風力	1	1.44万 kW
太陽光	9	0.91万 kW
原子力	2	275万 kW
合計	222	1,578万 kW



本店ビル(エナジースクエア)
仙台市青葉区本町一丁目7番1号



東北電力(株)

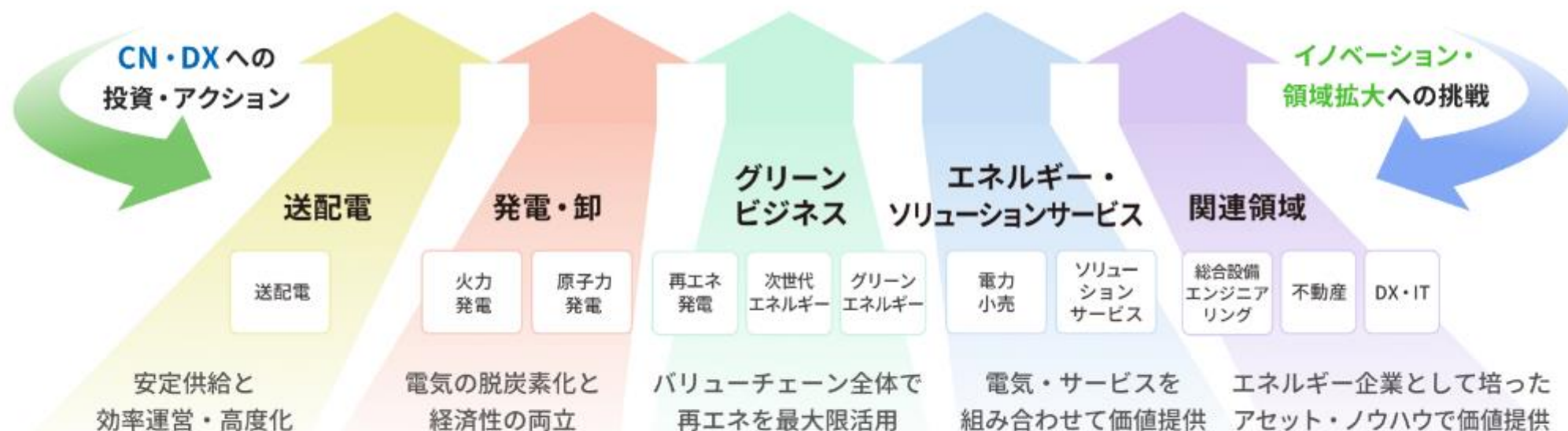
※数値は2025年3月末時点 当社ホームページより引用

当社の事業ドメインについて

- ✓ 当社は電気・エネルギーを中心に据えた5つの領域と11の事業区分を設定し、各事業が自律的に収益と成長を追求することで、スマート社会の実現に貢献します
- ✓ また、CN・DXを成長への機会として捉えるとともに、イノベーションなどを通じた既存事業の強化・拡張や新たな事業領域の拡大など、グループ全体で成長へチャレンジしていきます

東北電力グループ 2030年代のありたい姿

東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、
社会の持続的発展とともに成長する企業グループ



電気・エネルギーを中心に据えた事業の展開を通じてスマート社会の実現を目指す

✓ DX領域として, 現在以下2つのAI関連サービスを提供しています

生成AIインフラサービス(GPUクラウド)



生成AI関連のSU
東北・新潟の大学など

GPU
クラウドサービス

コンテナDC

高性能
GPU

電力・
通信
設備

土地 (東北・新潟エリア)

AI活用支援



東北・新潟の企業など

AIサービス
(AI導入支援, 受託開発等)

共同提供

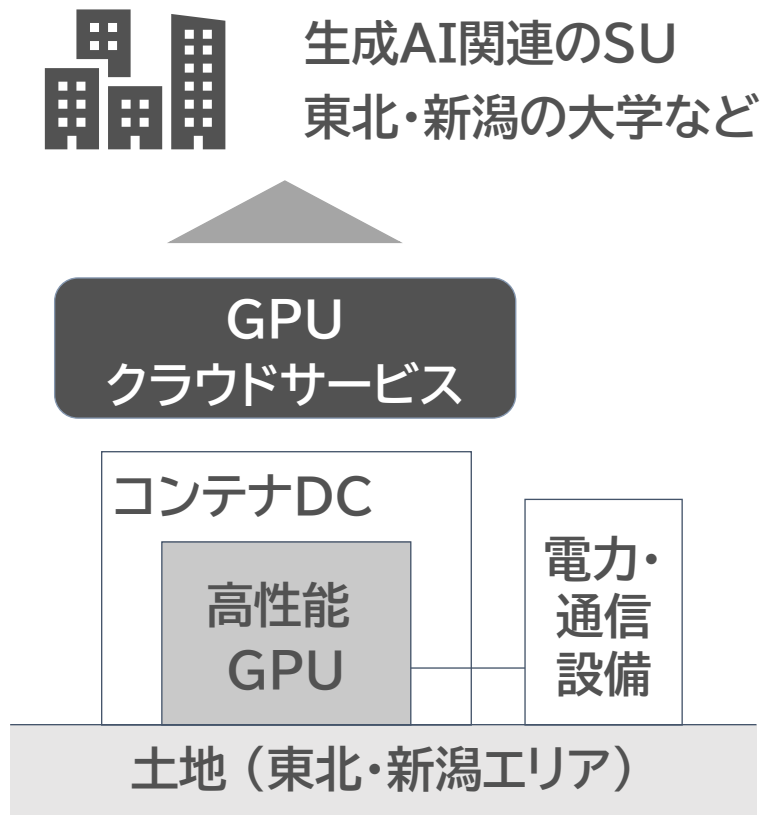
当社

協業

スタート
アップ

- ✓ GPUが搭載されたサーバの計算力をクラウドでご提供します

GPUクラウドサービス



特長

- ① 大規模モデル(LLM, VLMなど)の学習に適したGPU
- ② 高性能GPUが搭載されたサーバをベアメタル(SSH接続)でご提供
- ③ 利用期間中はサーバ内蔵のストレージを専有でご提供(NVMe)
- ④ コンテナDCの採用により業界最安でのご提供が可能
- ⑤ 大学・スタートアップなど複数社の利用実績あり

- ✓ GPUクラウドサービスでは、当社管内のコンテナ型データセンターを利用しています

イメージ



セキュリティ・運用保守体制

物理セキュリティ

- ✓ 複数のセキュリティゲート
(監視カメラ常時録画)
- ✓ コンテナ入口からラックまで
複数扉(鍵付), ラック施錠あり
- ✓ コンテナ内を複数カメラ・
温湿度計・電力計で監視
(閾値超過で警報)

運用保守体制

- ✓ 平日・日中は有人対応
(定期巡回, 異常時現場対応)
- ✓ 夜間は常時の動体等の検知

- ✓ GPUサーバーは従来より提供しているH200に加え, 2026年4月からB300の提供を開始しております

← 提供中サービス → ← 2026年4月提供開始 →

	① H200x8枚サーバ	② H200x4枚サーバ※1	③ B300x8枚サーバ
GPUメモリ	1,128GB	564GB	2,304GB
メモリ帯域幅	4.8TB/秒	4.8TB/秒	8.0TB/秒
GPU間通信	900GB/s	900GB/s	1800GB/s
CPU	128コア (2~3.8GHz)	64コア (3.85~4.3GHz)	128コア (2.4~3.9GHz)
システムメモリ	2TB	1.5TB	2TB
ストレージ (データ領域)	30TB(NVMe)	19TB(NVMe)	30TB(NVMe)
外部 ネットワーク※2	10Gbps	10Gbps	10Gbps

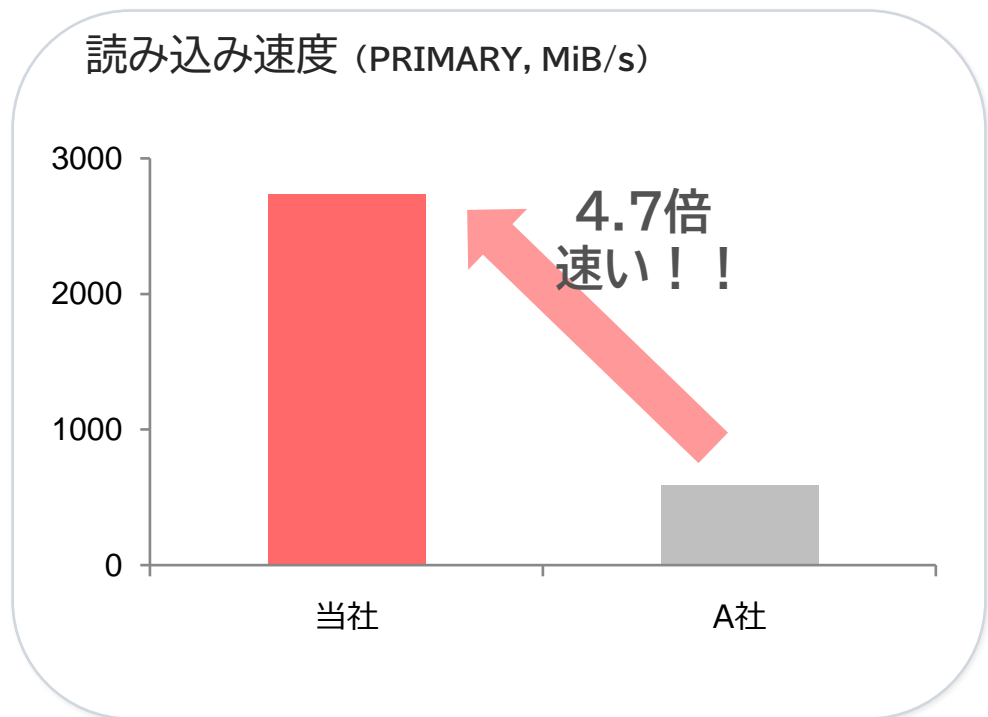
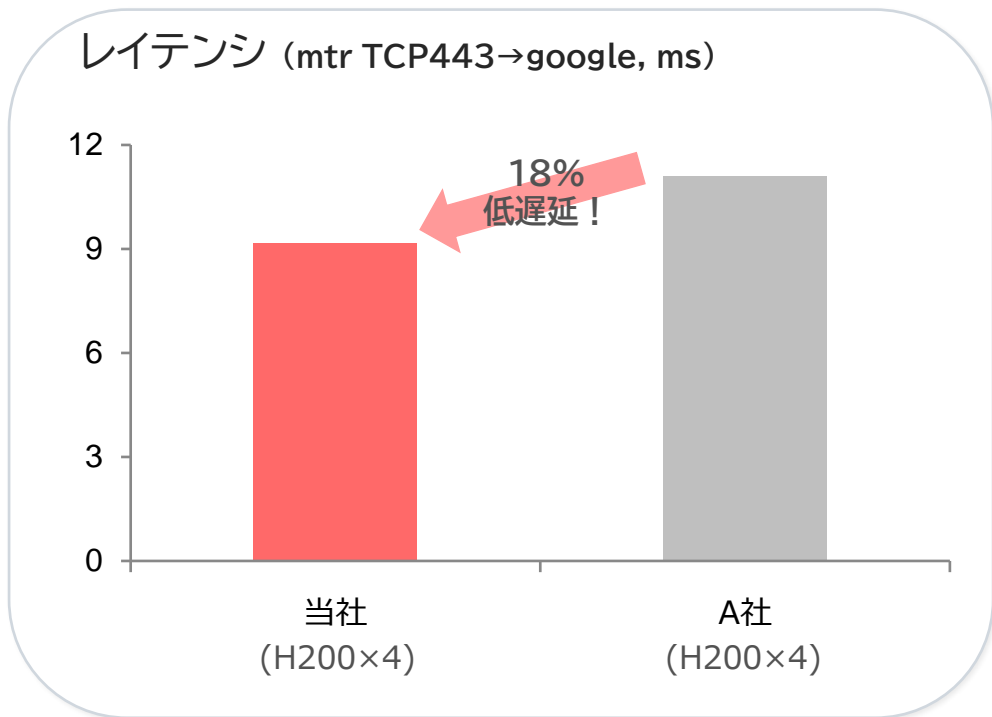
※1 ご利用開始日は2026年8月以降となります

※2 帯域はベストエフォート

✓ H200は学習用途に、B300は推論高性能化に適しており, 用途に応じてお選びいただけます

項目	H200x8枚	B300x8枚	特徴
GPUメモリ容量	1,128GB搭載	2,304GB大容量	高メモリ対応設計
推論性能	ベースライン1x	11x最高性能	高速推論最適化
推奨用途	学習・トレーニング	推論・実運用	利用目的で選択

✓ 当社は実運用の観点で最適な環境を構築し、高効率なGPU利用環境を提供しております



※当社調べ

- ✓ FW付のルータを介して、インターネットよりSSH接続をご提供します

接続イメージ



✓ 最先端のAI研究から産業DXまで、幅広い分野で計算基盤として採用されています

	高度な生成AI・ LLM開発	産業特化型AIの実装	最先端R&D・ 計算検証
主な目的	専門領域に特化した 独自モデルの構築	実社会の課題解決・DX 推進	新技術の検証・計算基 盤の構築
主要用途	学習 (大規模・長時間)	学習・推論	高速演算 (シミュレーション)
主な 活用事例	社内専用LLM 特許特化LLM マルチモーダルLLM	風力発電予測, 衛星 データ解析, AIアバ ター, 画像診断	量子計算環境
導入効果	大規模データの高速処 理により, 開発サイクル を大幅短縮	複雑なシミュレーション の精度向上	新技術のプロトタイプ 構築を迅速化
提供先	大学の言語関連研究室 AIスタートアップ	画像解析スタートアップ 製造業	新技術創出のスタート アップ

- ✓ GPUクラウドサービスの提供にあたり, ISO27001の認証を取得しております
- ✓ お客様の大切なデータを, 国際基準に準拠した厳格な管理体制で保護いたします

認証規格

ISO/IEC 27001:2022
(最新の国際規格に準拠)

認証番号

GIJP-2074-IC

審査期間

GCERTI

認証者名

東北電力株式会社 事業創出部門 事業開発ユニット

認証範囲

GPUクラウドサービスの提供



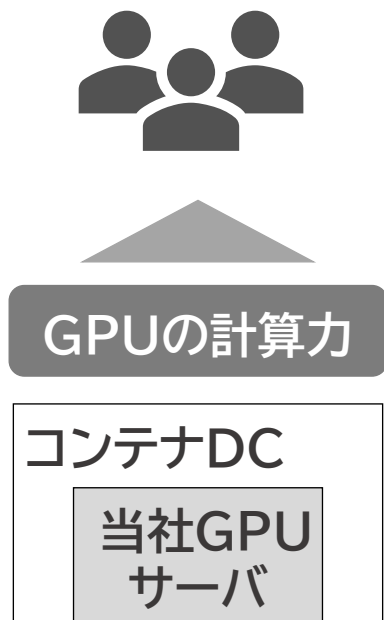
MSCB-113



- ✓ GPUクラウドサービスに加えて、協業パートナーとともにハウジングサービスもまもなく提供開始予定です

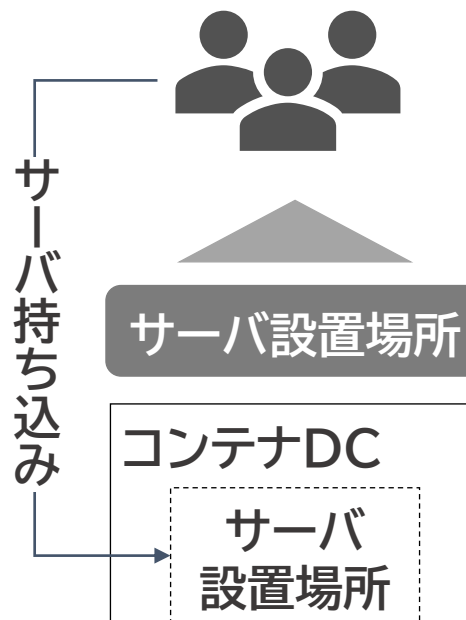
生成AIインフラサービス

GPUクラウドサービス



GPUの計算力をクラウドで提供

ハウジングサービス



サーバの設置場所を提供

✓ 当社発電所や宿舎等の遊休地へのAI-DC建設を念頭に、複数のパートナーと連携しています

➤ 2026年3月25日プレス



シスコと東北電力、分散型 AI データセンター基盤の最適化実現に向けて覚書を締結
～AI データセンターのネットワーク設計に関する共同検討を開始～

東北電力株式会社(本店:宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員:石山 一弘、以下「東北電力」と)、シスコシステムズ合同会社(本社:東京都港区、社長執行役員:濱田 義之、以下「シスコ」)は、AI インフラ^{※1}の高度化と地域に根差した分散型 AI データセンターの実現に向けた覚書を本日締結し、共同検討を開始しました。

➤ 2026年1月9日プレス



東北電力遊休地へのコンテナ型データセンター新設に向けた覚書を締結
～次世代型 GPU に対応したハウジングサービスの提供を目指す～

東北電力株式会社(本店:宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員:石山 一弘、以下「東北電力」と)、株式会社ゲットワークス(本社:東京都千代田区、代表取締役:中澤 秀則、以下「ゲットワークス」)は、コンテナ型データセンター新設に向けた覚書を本日締結いたしました。

➤ 2025年11月12日プレス



RUTILEA、東北電力、日立製作所、日本政策投資銀行、次世代型 AI データセンター構築に向けた検討を開始
地域インフラを活かし、脱炭素と産業振興を両立する未来志向のAI基盤の創出を目指す

株式会社 RUTILEA(以下、RUTILEA)、東北電力株式会社(以下、東北電力)、株式会社日立製作所(以下、日立製作所)、株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)の4社は、AIの急速な普及に伴い高まるGPU計算需要に対応するため、次世代型 AI データセンターの構築に向けて、データセンター事業主体の組成を含めた検討を共同で開始しました。

本プロジェクトでは、国内外で高まるデータセンター需要に応えるため、拡張性を最大限に発揮できるデータセンターの事業化を検討します。